

弐千円札の流通促進に関する宣言決議

2000年の九州・沖縄サミットを機に発行された弐千円札は、表面に本県の象徴である「守礼門」の図柄が、裏面に紫式部がそれぞれデザインされた斬新な紙幣である。

かつて大海に交易を展開し、礼節を尊ぶ守礼の邦として、名を馳せた琉球の象徴であった守礼門は、戦後灰じんの中からいち早く復元され、恒久平和を願う全県民の心のよりどころとして崇められてきた。

その「守礼門」を図柄にした弐千円札は、まさに「平和希求の紙幣」であり、発行に至る政府関係者のご尽力に心から感謝申し上げるとともに、平和のメッセージとして広く全国に流通することを願うものである。

しかしながら、一方では弐千円札の利用に関しては、経済界や金融機関等における十分な取り組みがなされてなく、利用可能な現金自動預払機や自動販売機の普及の遅れなどにより、いまだに流通が低迷している状況である。

弐千円札の流通促進は、県民挙げて取り組んでいる平和希求の取り組みを全国に発信することにつながるものであり、本県・本市の歴史及び文化等の発信、観光振興など多方面にわたって大いに寄与することが期待されている。

よって本市議会は、平和希求の紙幣である弐千円札の流通促進に向けて、あらゆる努力を傾注することをここに宣言する。

以上、決議する。

平成18年（2006年）3月22日

那覇市議会